

令和4年度第3回和歌山県医療対策協議会 議事録

【日時】令和5年3月24日（金）15:00～16:00

【場所】ホテルアバローム紀の国 4階 羽衣の間

【次第】

1. 開会

2. 議題（※下記（1）～（5）のとおり進行）

- （1）令和6年度から臨床研修を開始する研修医の募集定員（案）について
- （2）今後の医師確保対策（案）について
- （3）令和5年度の医師派遣について（報告）
- （4）令和5年度専門研修に係る専攻医の採用状況等について（報告）
- （5）その他

3. 閉会

【議事】

[議題（1）令和6年度から臨床研修を開始する研修医の募集定員（案）について]

（事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長）

令和6年度から臨床研修を開始する研修医の募集定員（案）について説明（【資料1】関係）。

（平石会長）

事務局より、令和6年度から臨床研修を開始する研修医の募集定員について説明があった。ただいまの事務局からの説明を受けて、各委員からご質問やご

意見があれば発言をお願いします。

(山下委員)

和歌山県の募集定員は、127名とあるが、将来この数字はどこまで減っていくのか。

(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)

2ページに記載があるとおり、全国の募集定員については、※1や※2の赤字部分のとおり、令和7年度までに人数が段階的に縮小されていく。それ以降については、国が検討しているところであるが、今の計算式で行くと、和歌山県としては、数名程度の減少で留まる見込み。

(平石会長)

それでは事務局においては、本日の内容を踏まえて、令和6年度から臨床研修を開始する研修医の募集定員の配分について、国に報告するようお願いする。

[議題(2) 今後の医師確保対策(案)について]

(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)

今後の医師確保対策(案)について説明(【資料2】関係)。

(平石会長)

事務局より、今後の医師確保対策(案)について説明があった。ただいまの事務局からの説明を受けて、各委員からご質問やご意見があれば発言をお願いします。

(殿尾委員)

19名のうち12名が県内に残るということ。県外へ行く7名が県内に残らなかった理由はあると思うが、卒業から9年間の義務が明けた後、約6割しか県内に定着しないのは、いかがなものか。

(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)

県内定着率については、今後の課題と認識している。やはり、定着率を上げていくには、この9年間をどう過ごしてきたかが重要と考える。今回説明したメンター制度などは、義務明けの地域枠出身医師が新たに後輩を育てていく役割を担うことで、義務内の医師たちも和歌山県で勤務して良かったなと思え、少しでも定着率が高まっていくのではという目的がある。

（事務局 上野センター長）

県外へ出ていく学生の出身者は、ほとんどが他府県出身である。個別具体的に見ていくと様々な理由があるが、来年度は今より多くの方が県内に定着するのではと考えている。

（平石会長）

それでは事務局においては、本日の内容を踏まえて、制度を進めていくようお願いする。

[議題（3）令和5年度の医師派遣について（報告）]

（事務局 医務課 宮本主査）

令和5年度の医師派遣について報告（【資料3】関係）。

（平石会長）

事務局より、令和5年度の医師派遣について報告があった。ただいまの事務局からの報告を受けて、各委員からご質問やご意見があれば発言をお願いする。

（殿尾委員）

有田市立病院について、令和5年度から民間からの指定管理を受けると聞いているが、このような場合の派遣方針について県はどのように考えているか。

（事務局 医務課 宮本主査）

有田市立病院については、運営自体は別の団体が行うが、施設の設置者は有田市で変わらないので、これまでと同様の派遣方針としている。

（中尾委員）

つまり、経営は民間組織であっても、公立病院であるという整理でよろしいか。

（事務局 医務課 宮本主査）

然り。

（尾崎委員）

この派遣案が出来た時は、有田市立病院が民間団体から指定管理を受けることをまだ知らなかったという整理でよろしいか。

(事務局 医務課 宮本主査)

この派遣案を作成した段階では、情報はすでに聞いていた。

(尾崎委員)

指定管理を受けることで、職員は公務員ではなくなる。その場合、今回派遣しないこととなっている済生会有田病院と同じ扱いになるのではないか。

また来年度に、そのように派遣計画を見直す予定なのか。

(事務局 医務課 宮本主査)

派遣する医師については、有田市へ派遣、そこから有田市立病院へ出向のような形になるため、今回派遣する4名については、公務員という身分になる。

(事務局 上野センター長)

派遣対象の医師は、医師不足の公立・公的な医療機関へ派遣することとなっている。今回、有田市立病院を管理する民間団体が自らの医師を連れてきて、医師が充足している状況となれば、今後派遣することはなくなってくると考える。

(平石会長)

有田市立病院の経営母体は変わるが、やはり地域の中核病院であることには変わりがなく、そこが医師不足という状況であれば、県としては派遣を行っていくというスタンスかと。

[議題(4) 令和5年度専門研修に係る専攻医の採用状況等について(報告)]

(事務局 医務課 宮本主査)

令和5年度専門研修に係る専攻医の採用状況等について報告(【資料4】関係)。

(平石会長)

事務局より、令和5年度専門研修に係る専攻医の採用状況等について報告があった。ただいまの事務局からの報告を受けて、各委員からご質問やご意見があれば発言をお願いします。

<特になし>

特にないので、次の議題に移りたい。

[議題（５）その他]

(平石会長)

議題５、その他について、事務局より令和５年度地域枠の入学予定者数について、報告があると伺っている。では、事務局より、令和５年度地域枠の入学予定者数について報告をお願いします。

(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)

令和５年度地域枠の入学予定者数について説明（【参考資料１】関係）。

(平石会長)

事務局より、令和５年度地域枠の入学予定者数について説明があった。ただいまの事務局からの説明を受けて、各委員からご質問やご意見があれば発言をお願いします。

(駿田委員)

産科限定の入学枠に２名も合格者がおり驚いている。この制度は、県内高校限定のものか。

(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)

全国公募である。

(平石会長)

他にはないか。

<特になし>

本日予定していた議事は以上である。

以上